

# 高岸税務会計事務所 ニュースレター

当税理士事務所は気軽に相談でき、親身に  
相談にのる税務・財務のスペシャリストです

〒569-0803 大阪府高槻市高槻町 9-19-202

電話番号：072-683-0230 FAX：072-683-0376

<http://www.gishitax.com/>

mail：[info@gishitax.com](mailto:info@gishitax.com)

お気軽にお問合わせ下さい 072-683-0230

(JR 高槻駅・阪急高槻市駅から徒歩約3分)



日本マクドナルドの創業者・藤田田(でん)さんの習慣は耳の裏を洗うことでした。耳の裏にはビジネスのツボがあり、清潔にすることで商売のセンスが磨かれると確信していたそうです。これはユダヤ人が5千年もの間、密かに続けてきたことだとか。成功者は自分なりの習慣を持ち、それを貫き通す人が多いようです。

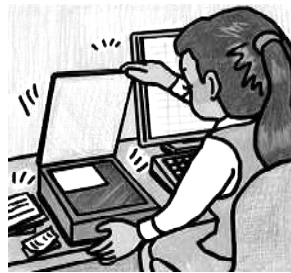
## 【領収書などの紙の書類をデータで保存】

日々、増える領収書や契約書といった紙の書類を、どのように保管していますでしょうか。実はこうした紙の書類を「デジタルデータに変換して保存」することができる制度があります。

それは「スキヤナ保存制度」といって、一定の要件に従ってデータを保存すれば、紙の書類は処分することができる制度です。これにより書類を保管するスペースが不要になり、災害などで被害にあった場合には大事な書類を紛失するリスクも低くなります。

この制度は10年以上前からありますが、要件が厳しくほとんど利用されていませんでした。しかし、2015年の税制改正で要件が大幅に緩和され、これまでより使いやすい制度に変わりました。主な改正点は、3万円以上の領収書や契約書なども制度の対象になった点や、デジタル化した日時を証明するタイムスタンプがあれば、電子署名の付与は不要になった点などでしょう。タイムスタンプとは、電子データがある時刻に確実に存在していたことを証明する電子的な時刻証明書です。

領収書や契約書などの書類がたくさんある場合には、スキヤナで読み取る手間がかかります。またタイムスタンプが利用できる環境を整える必要もあります。改正により使いやすい制度にはなりましたが、これまでの手間や費用などを比較検討して利用する必要があります。



## 【新たに脚光を浴びる「メイド・イン・ジャパン」とは?】

かつてハイテク電気機器の代名詞であったメイド・イン・ジャパンは今、最高品質の日用品として新たな脚光を浴びています。使い勝手を徹底的に追及した食品用のラップや、岐阜県関市の刀匠による切れ味鋭い爪切り、ラバーによる摩擦で消せるボールペンなど、日本人ならではの機転の利いた開発力と細部にまで行き届いた芸の細かさで海外から高い評価を得ています。製品の出来の良さに加え、当たり外れのない品質の高さも絶賛的的でモノづくり日本の面目躍如です。

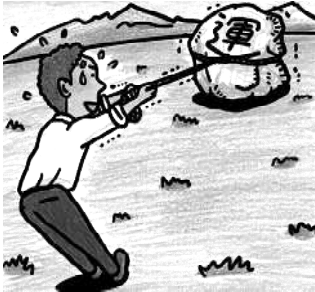


【今月の教えてキーワード：年金積立金管理運用独立行政法人】

公的年金である厚生年金と国民年金の年金積立金の管理・運用を行っている厚生労働省所管の独立行政法人。年金積立金とは保険料収入の余剰分のこと、これを国内外の株式や債券に投資し、運用で得た収益を年金給付の財源として国庫に納めている。1961年の国民年金開始以降、公的年金の積立金の管理・運用は年金福祉事業団が担ったが、2001年の法改正により年金資金運用基金へと変わり、2006年に現体制となった。

【幸せの種をまこう】

人の成功を素直に喜べないことは誰にでもあるでしょう。そんなとき「あいつは運が良かっただけさ」とか、「今回は俺に運が向いてこなかった」などと自分を慰めてみても後味は悪いものです。マーフィーの法則によれば、運は均等にあるそうです。



「この世に運のいい人も、悪い人も存在しません。ただひとついえることは、運を引き寄せられる人と引き寄せられない人がいるだけで、運は均等にあります。」

たとえ自分に都合の悪いことがあっても「運」のせいにするのではなく、良い結果が後からついてくるような行動にシフトしてみませんか。今から100年以上前に、イギリスの作家ジェームズ・アレンが『「原因」と「結果」の法則』という本を書きました。成功哲学の祖デール・カーネギーにも大きな影響を与えた人です。その本にはこう書かれています。

「私たちがこれまで考えてきたこと（原因）が、私たちを、いまの環境（結果）に運んできたのです。」

つまり毎日の仕事は「原因という種まき」ともいえます。商売で成果が出たとしたら成果が出るような種をまいたということで、運が良かったわけではない。失敗も運のせいではなく、まいた種に問題があったから。商売の浮き沈みを原因と結果の法則に当てはめるとこうなるのではないのでしょうか。原因があって結果がある。至って当たり前のことですが、100年も前からいわれていることがちゃんと実践できていないから、つい運のせいにしてしまうのでしょうか。原因は目の前にあるとは限りません。いつまいたか忘れてしまったような種が思わぬときに芽を出すこともあります。思うような結果にならないときは謙虚に結果を受け入れて、次は「良い結果」に結びつくような種をまく。この繰り返しを「仕事」と呼ぶのかもしれませんが。同書にはこうも書かれています。

「自分の環境を直接はコントロールできないかもしれません。

でも、自分の思いは完璧にコントロールできます。」

やはりすべては自分次第というわけですね。

今を生きる  
先人の言葉

灯りを消す方が  
よく見えることがある

心理学者である河合隼雄の言葉。困ったときでも慌てることはない。頭の中の雑念を取り払い、真っ暗闇の静寂の中でじっくり考えた方がうまく行く場合もある。

サラリーマン妻  
川柳

読書する  
夫の隣で  
妻食べる  
（それぞれ）  
秋を喫す  
満喫  
中よ

大阪府高槻市・茨木市・島本町・枚方市、京都府長岡京市の税理士事務